

【 1. 3. 11 事故の反省・教訓を風化させない働きかけ、安全文化醸成に資する活動 】**2. 部会員の福島支援活動の経験から、住民目線のリスクコミュニケーションを考える****【実施内容】**

これまでの部会員の福島支援活動を総括するとともに、他機関や個人活動等の情報を収集して取り組みについて分析し、技術士としての住民目線のリスクコミュニケーションの在り方がどうあるべきかを考え、発信する。

【実施計画】

- ① 当部会員の福島支援活動(一時帰宅プロジェクト、自治体支援、被災者支援、除染情報プラザ講師協力他)に関し、部会内での情報共有のために活動内容を取りまとめる。
- ② 震災直後からの他機関(ICRP ダイアログセミナー、放医研他の法人、保物学会他の学協会、原子力学会シニアネット等)、地方紙、NPO 法人等の取り組み、環境省他の最近の取り組み、注目を浴びた個人の活動等を HP ベースで調査整理し、成功事例を中心にその実績と成果を学ぶ。
- ③ 上記に関し担当者で分担し、技術士の夕べ(H27/3)で講義形式で解説し部会員の底上げを図る。本講義をきっかけにして、「技術士＝信頼される技術者を社会に定着させるためには」と題し、技術士個人の発言と行動の仕方、部会としての取り組み及びタブー等について意見交換し、取りまとめ、HP 上で公表する。
- ④ 本考え方を基に、H27 年度における実践活動を行い、H27 年度末頃を目標に、外部講師を招き、再度意見交換会を実施する。(意見交換会は講師講演と議論は半々の構成を目指す)

【実施主体メンバー】

- ◆ 部会員の底上げのための講師(資料準備)、意見交換会を含めた計画検討
.....(企画担当者:JAEA 技術士会(阿部、佐々木、藤本他)、防災委被災者支援参加者(中田、伊藤元、亀山)、除染情報プラザ参加者(高橋一)及びその他数名体制

【スケジュール】

- H26/10 : 概要計画案(本紙)の修正、部会員への公表
- H26/11 : 基本計画の PT による検討と役員会提議
- H26/12 : HP に専用頁を開設、本取り組みの趣旨等の説明
- H27/ 1 : 詳細計画の役員会提議
- H27/ 3 : 部会員による実績発表及び調査検討内容の勉強会と意見交換会(技術士の夕べ)
- H 28/4 以降:支援活動の実践と意見交換会(H27 年度中 1 回目標、H28/3 に総括)

【外部への発表】

- ・ 原子力学会誌3月号特別企画「各学会の福島における活動のまとめ」桑江部会長
- ・ 取り組みを踏まえた月刊技術士等での意見発信 (H27 夏頃及び H28 年度) 別途選定